

学校運営協議会 議事録

校名	府立 泉陽高等 学校
校長名	武田 温代

開催日時	令和 2年 10月 23日(金) 15:00～17:00
開催場所	大阪府立泉陽高等学校 図書室
出席者(委員)	池嶋 伸晃委員、中村 俊一委員、高木 学委員、茶谷 佳行委員 志賀 亮子委員、中山 貴詞委員
出席者(学校)	武田 温代(校長)、藤原 大(事務局長・教頭) 鶴丸 眞治(事務長) 境谷 秀一(首席・1学年主任) 石橋 義之(首席) 石毛 明生(総務部長) 西浦 珠代(教務主任) 多田 雅征(生活指導主事) 城野 克子(保健主事) 黒木 陽仁(生徒会部長) 野口 清隆(進路指導主事) 古川 晃(3学年主任) 岩本 幸一(2学年主任)
傍聴者	なし
協議資料	資料① 令和2年度 学校運営協議会 委員による授業見学 資料② 学力向上プロジェクト関係:オンライン授業委員会<報告> 資料③ 高大接続プロジェクト関係:共通テストに向けて(新傾向出題分析) 資料④ 生徒の状況(年間欠席者数、遅刻者数の推移) 資料⑤ 令和2年度学校経営計画及び学校評価 資料⑥ 令和3年度使用教科書(選定・採択)一覧表
備考	

議題等(次第順)

- (1) 保護者からの意見書の提出状況について→意見書の提出はなし  
(2) 事務局より報告
- ・令和2年度学校経営計画の進捗状況について
  - ・学力向上プロジェクト関係:オンライン授業委員会より
  - ・高大接続プロジェクト関係:共通テストに向けて
  - ・生徒の状況について
  - ・教科書の選定状況について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・共通テストの分析についてはよくやっていると。傾向が蓄積されていけばさらによくなると期待している。論理的読解力が強いと有効である。この力をどうやって伸ばすかが課題となる。
- ・泉陽高校でも他の高校と同様に、授業に参加できることに喜びを感じている生徒が多く、授業の雰囲気はよくなっている。
- ・英語の授業でのプロジェクターの使用は板書の時間が短縮されるので効果的である。国語について文章をロジカルに読み、解法に向かう道筋が見えればなお良いのではと思った。
- ・コロナ対策のために窓や廊下側の扉を開放する必要があるが、扉に近い席の生徒は、隣の教室の音も同時に聞こえ授業に集中できないのでは。コロナ禍での教室学習環境の整備の必要性を感じた。
- ・小中学校では主体的・対話的で深い学びの観点で、発表や話し合いの機会をかなり多くとっている、高校ではその傾向が少なくなっているように感じた。
- ・中学校でも生徒はICT機器を使用した授業に慣れている。高校でもその頻度がさらに多くなれば、より学習理解が進むのではと感じた。
- ・今後、再び休校となった場合や不登校生徒の学習支援に備えて、双方向型の授業ができるシステムの構築を急ぐべきである。
- ・コロナ禍のもと、生徒だけでなく先生方についても精神的、身体的な面で不安があるのでは。衛生面に気をつけていただきたい。(教科書選定について、資料の通り承認いただいた。)

次回の会議日程

日時	令和 3年 2月12日(金)16:00～
会場	大阪府立泉陽高等学校 校長室(予定)